



特別企画

総合型クラブでの効率的・効果的な会議の進め方とは？

総合型クラブの運営において、会議を効率的・効果的に運営することは必要不可欠です。そこで今号では、効率的・効果的な会議の運営方法を紹介し、全国の総合型クラブが、より円滑にクラブ運営を実践できるよう、ホワイトボード・ミーティング®認定講師の河北純子氏に「総合型クラブにおける効率的・効果的な会議の進め方」について解説していただきます。

1 総合型クラブ会議の課題

7年ほど滋賀県にてクラブアドバイザーを務め、その間には総合型クラブの会議や行政と総合型クラブとの合同会議等、200近くの会議を見てまいりました。総合型クラブの会議は、クラブ理念を共有し、同じベクトル(方向)を目指す会議ではありますが、メンバーは年代やキャリア、立場など様々な人たちが出席します。そのため、目指すベクトル(方向)が同じでありながら、それぞれの思いがあり、なかなか方向性が決まらない時があります。

時として、一部の力の強い意見に巻き込まれて進んでしまいます。住民参加で全員が対等な立場で発言することを求められる総合型クラブの会議の運営・進行は、会社組織よりも難しいのかもしれません。

2 会議の明瞭化・効率化を促すホワイトボード・ミーティング®

ホワイトボード・ミーティング®という言葉をご存知でしょうか。会議の席にホワイトボードを設置し、発言者の意見をホワイトボードに書く会議手法です。株式会社ひとまちの代表が15年ほど前に日本で初めて体系化した手法です。発言者の意見を次々とホワイトボードに書き込んでいきますが、発言者の名前は書きません。そうすることにより「誰々の意見」という意識が徐々に薄れていくため、誰が発言したかということに左右されにくくなるという効果が生まれます。



ホワイトボード・ミーティング®の様子

また、参加者それぞれに都合もあり、会議の開始時間に全員がそろうのは難しい場合、遅れてきた方は、それまでの流れが分からず発言しにくいものです。しかし、この方法だと後から参加された方も、ホワイトボードを見て確認すれば会議の流れを把握できるメリットがあります。

3 ファシリテーションのコツと心得

良い会議に導く進行役を「ファシリテーター」と言います。何らかの事柄を円滑に進むよう促進する働きを「ファシリテーション」と言い、そのために働きかける人が「ファシリテーター」です。

ファシリテーターは、全員が発言しやすいよう環境調整役に徹します。基本は、自分の意見を言いません。出た意見をジャッジしたり、否定せず、まずはいったん「ナルホド」「そうですね」「そういう考え方もありますね」など、受け止めてホワイトボードに書きます。一部の人に発言が偏る時には、「ペアになって話してみよう」と参加者が発言しやすい流れを作ります。

ポイントとして、ファシリテーターはいつも同じ人ではなく、交代制を採用してみてください。順番にファシリテーターを務めると、みんなで同じ方向を目指そうという意識が高まります。みんなでホワイトボード・ミーティング®を日頃から練習するのが効果的です。

また、冗長な会議にならないためにも、会議の約束事やルールを決めます。特に大事なものは時間の厳守です。会議の開始時間と終了時間を守ることからチャレンジしましょう。終了時間をきっちり守れば、会議後に予定がある人も参加しやすくなり、出席率の向上にもつながります。

4 会議チェックシートの活用も有効

新しい会議の方法を試す前には、現状の課題分析も大切です。効率的で効果的な「元気になる会議」を目指すためにも、「会議25のチェックシート」の活用をお勧めします。まずは健診のつもりで気楽に試してください。

ホワイトボード・ミーティングでめざそう！
みんなの意見が活かされる。効率的、効果的な「元気になる会議」

まずは、会議 25 のチェックシート

あなたが参加する会議を1つイメージして、直感で答えましょう！

- | | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|---------------|
| ☐ 1 | 会議はいつも時間通りに始まり、時間通りに終わる | (信頼構築) |
| ☐ 2 | 会議の冒頭。目的（ゴール）を文字で明確に共有している | (意義確認) |
| ☐ 3 | 席の配置は、意見が出やすいように工夫している | (会場デザイン) |
| ☐ 4 | 資料やレジメを読み上げるだけでなく、議論と決定がある | (生産性) |
| ☐ 5 | 「最初から結論が決まっている」ということはない | (創造性) |
| ☐ 6 | 発言者の偏りはない | (安全管理) |
| ☐ 7 | 進行役は全員の意見を引き出すことを大切にしている | (公平性と承認) |
| ☐ 8 | 全員に発言の機会が用意されている | (場への貢献保障) |
| ☐ 9 | 場がガラガラしたり、静まらないように工夫している | (設計) |
| ☐ 10 | 私語はない。眠たそうな人もいない | (環境構成) |
| ☐ 11 | 話は確実にゴールに向かっていく（堂々巡りはしない） | (進捗管理) |
| ☐ 12 | 参加者同士が信頼関係を感じ合っている | (チームワーク) |
| ☐ 13 | 新しいアイデアや意見を歓迎する雰囲気がある | (創造性) |
| ☐ 14 | 会議の決定は尊重される（結論が終了後に変わらない） | (意思決定) |
| ☐ 15 | 会議の決定にみんなが納得している（終了後に文句はない） | (合意形成) |
| ☐ 16 | 会議で決まったことは、ちゃんと実行されている | (実効性) |
| ☐ 17 | 会議終了後、書面で記録を共有している | (記録の共有) |
| ☐ 18 | 参加者の間で、言葉の意味を共有できている | (対象者理解、異文化理解) |
| ☐ 19 | 適度な休憩や笑いがある | (リラクセス) |
| ☐ 20 | 会議終了時、決定事項と未決定事項を確認している | (到達点の確認) |
| ☐ 21 | 常にエンドユーザー（最終利益享受者）を意識した運営を心がけている。 | (意義確認) |
| ☐ 22 | 成果をみんなで共有している | (達成感) |
| ☐ 23 | 会議の設計図を描いている | (設計) |
| ☐ 24 | 企画書やレジメが提出されている | (設計) |
| ☐ 25 | 会議の回数や頻度、長さ、参加人数は適当である | (効率性) |

●はいの数

25～21 個 健康な会議です。他の人にもチェックをお願いしましょう！

20～16 個 あとひと工夫です！

15～11 個 一番、会議疲れを感じています。大丈夫、方法があります。

10 個以下 やれることがイッパイです！希望をもって進みましょう！

©株式会社ひとまち <https://wbmf.info/>

いかがでしたでしょうか。「はい」の数が少なくても大丈夫です。会議の手法を一気に改革するのは難しいものです。「時間厳守」から始めるなど、少しずつ改善していくことが肝要です。私は「会議は文化」だと思っています。ですので、いきなり変えるよりもスモールステップで向上を図ってください。

5

会議の目的を明確に

意見がまとまらない会議では、会議の目的がしっかり定まっていない場合が多く見受けられます。会議にも色々な種類があります。報告事項だけの会議、議論して何かを決定する会議、交流を大切にする会議…。会議の目的をはっきり冒頭に示すことが大切です。会議資料が多い時は、事前にメンバーに告知しましょう。会議冒頭では、ポイントを絞った説明をして、意見収集へと進みます。

総合型クラブに合った会議のルール化(参考例)

- ① みんなでファシリテーターの練習をしよう
- ② クラブ・地域の利益がwin-winになる話し合いをしよう
- ③ 日頃から、親睦や交流を大切にしよう
- ④ 話し合いのゴールを明確にしよう
- ⑤ みんなの意見をホワイトボードに書いてまとめてみよう
- ⑥ 役割分担をしながら、チームプレイで進めてみよう

会議の進め方に関し、私たちは学校教育で学ばずに、経験則や我流で進めてしまいがちです。そうならないためにも、上記の例を参考に、みなさんのクラブに合った会議のルールを定めてください。

6

「心の体力」を温めるコミュニケーションを大切に

ここまで効率的・効果的な会議の進め方について説明しましたが、忘れてはならないのがコミュニケーションです。体に体力があるように、心にも「体力のようなもの」があります。体は「強い、弱い」と表現するように、心は「温かい、冷たい」と表現するのがぴったりします。「心の体力」が温かい時には意欲的に「頑張ってみよう！」という気持ちになります。心が冷えている時は「頑張るのは無理」というように後ろ向きになり、不安が高まると、自分や相手を傷つける言動や試す行動をとるなどの不穏な行動に出てしまうものです。みんなの心が温かく、元気になることが大切です。そのためにも、心が冷えている人がいたら周囲が温かい目と言葉でカバーしましょう。

小さくてもいいから日頃からコミュニケーションを取る意識が大切です。日常のコミュニケーションの積み重ねによって「心の体力」を温めていきましょう。

河北純子(かわきた じゅんこ)

ホワイトボード・ミーティング®認定講師

大学でスポーツ、クラブコーディネートを教える傍ら、ファシリテーターとして活動。スポーツチームにおけるコミュニケーションカアップやチームビルディングに取り組む。また、市民活動、まちづくりなどの会議を支援するスーパーバイザーとして活動。教育現場では、ホワイトボード・ミーティング®を活用した授業や学級経営の進め方を提案している。

